

道東太平洋海域で採集された暖海性魚類

針生 勤*・今井 義弘**・三原 行雄**

On the Warm Water Fishes from the Pacific Ocean
off the Eastern Hokkaido

Tsutomu Haryu*, Yoshihiro Imai** and Yukio Mihara**

Abstract

This paper describes the warm water fishes occurred in the Pacific Ocean off the eastern Hokkaido from 1985 to 1989. These fishes had been obtained by fishing baots belonged to private corporations and research vessels of the Kushiro Fisheries Experimental Station. The specimens contained 21 species divided among 18 genera in 16 families. Of these, pelagic stingray *Dasyatis violacea*, cow stingray *D. ushiei*, coast flyingfish *Cypselurus pinnatibarbus*, tripletail *Lobotes surinamensis*, frigate mackerel *Auxis rochei*, flying gurnard *Daicocus peterseni*, wire-netting leatherjacket *Cantherhines dumerilii*, and Pacific burrfish *Chilomycterus affinis* were newly recorded in the Pacific coast of the eastern Hokkaido.

It has been thought that the warm water fishes moved northward by a water mass of the Kuroshio Current and partly by the warm water from Okhotsk Sea in the year when the warm water current was strong.

The fish specimens have been kept in storage at the Kushiro City Museum.

はじめに

北海道近海に出現した暖海性魚類に関する報告は数多い。たとえば、道東太平洋海域についてはSato (1937)、阿部 (1964, 1965, 1967)、尾身・阿部 (1969)、入江 (1983)、中田 (1983)、吉田ほか (1985) および佐々木ほか (1989) など、襟裳岬以西の太平洋沿岸については正田 (1950, 1951) および小林・池田 (1962) など、日本海沿岸についてはKobayashi (1962) およびUeno and Abe (1966a) など、オホーツク海沿岸については正田・柴田 (1964) および正田 (1981) などの知見がある。また、北海道周辺を網羅したものとしては上野 (1971) および阿部ほか (1983) などの報告がある。

本報告はその年々の海況を知るうえで重要な手掛りとなる情報あるいは魚類の分布範囲に関する情報を蓄積するために、1985—1989年の期間、主に道東太平洋海域に出現した暖海性魚類について、前述の知見を参考にして出現域について記載した。

本文に入るに先立ち、貴重な魚類標本を提供していただいた漁業者の方々に厚くお礼申し上げる。

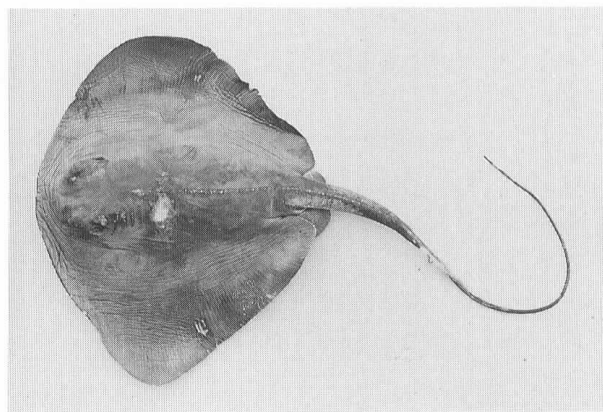
暖海性魚類

表1 および図1に示すように、本報告は道東太平洋海域で採集された魚類のほか、本海域からさらに外洋の北太平洋海域で採集された標本をも含めて記載した。なお、標本はK C M (Kushiro City Museum) の番号を付して登録し、釧路市立博物館に収蔵・保管されている。

アカエイ科 *Dasyatidae*

カラスエイ *Dasyatis violacea* (Bonaparte)

標本番号: KCM0297 (全長866mm)



※釧路市立博物館 (Kushiro City Museum, Kushiro, Hokkaido)
※道立釧路水産試験場 (Kushiro Fisheries Experimental Station)

表 1. 1985～1989年の期間に道東太平洋海域で採集された暖海性魚類。

番号	科 名	種 名	採集年月日	採 集 場 所	採集方法	採 集 者	標本番号
1	アカエイ科 Dasyatidae	カラスエイ <i>Dasyatis violacea</i>	1985・9・11	42° 00' N, 144° 55' E	サケ流網	北辰丸	KCM0297
2		ウシエイ <i>Dasyatis ushiei</i>	1988・9・2	知人沖3.02マイル	底曳網	天昭丸	KCM0326
3	アナゴ科 Congridae	マアナゴ <i>Conger myriaster</i>	1985・12・15	42° 39' N, 144° 55' E	"	第51立昇丸	KCM0307
4	トビウオ科 Exocoetidae	ハマトビウオ <i>Cypselurus pinnatifidus japonicus</i>	1986・9・7	41° 43' N, 152° 05' E	-	北辰丸	KCM0312
5	マトウダイ科 Zeidae	カガミダイ <i>Zenopsis nebulosa</i>	1989・9・27	道東太平洋沖	-	-	KCM0349
6	ボラ科 Mugilidae	ボラ <i>Mugil cephalus cephalus</i>	1985・12・22	42° 54' N, 145° 15' E	底曳網	第11宝星丸	KCM0308
7	アジ科 Carangidae	ツムブリ <i>Elagatis bipinnulata</i>	1989・9・10	40° 00' N, 148° 00' E	イカ刺網	北辰丸	KCM0341
8		カンハベチ <i>Seriola dumerilii</i>	1989・9・12	41° 00' N, 145° 59' E	"	"	KCM0338
9		オキアジ <i>Uraspis helvola</i>	1989・9・10	40° 00' N, 148° 00' E	"	"	KCM0340
10	シマガツオ科 Bramidae	シマガツオ <i>Brama japonica</i>	1986・9・3	40° 02' N, 149° 54' E	-	"	KCM0316
11	マツダイ科 Lobotidae	マツダイ <i>Lobotes surinamensis</i>	1985・9・11	42° 00' N, 144° 00' E	サケ流網	"	KCM0302
12	イスズミ科 Kyphosidae	イスズミ <i>Kyphosus tembus</i>	1986・9・7	41° 43' N, 152° 05' E	-	"	KCM0311
13		テンジクイサキ <i>Kyphosus cinerascens</i>	1986・9・11	39° 59' N, 144° 59' E	-	"	KCM0314
14		テンジクイサキ <i>Kyphosus cinerascens</i>	1988・9・5	40° 00' N, 145° 00' E	イカ流網	"	KCM0327
15		テンジクイサキ <i>Kyphosus cinerascens</i>	"	"	"	"	KCM0328
16	コバンサメ科 Echeneidae	ナガコバン <i>Remora remora</i>	1985・9・4	41° 30' N, 144° 29' E	サケ流網	"	KCM0304
17	サバ科 Scombridae	マルソウダ <i>Auxis rochei</i>	1985・9・11	42° 00' N, 144° 00' E	"	"	KCM0298
18		ヒラソウダ <i>Auxis thazard</i>	1986・9・3	40° 02' N, 149° 54' E	-	"	KCM0315
19	セミボウボウ科 Dactylopteridae	ホシセミボウボウ <i>Dactosaurus peterseni</i>	1988・9・29	知人沖釧路8号定置	定置網	-	KCM0330
20	カレイ科 Pleuronectidae	ムシガレイ <i>Eopsetta grigorjevi</i>	-	道東太平洋沖	-	-	KCM0294
21	ウシシシタ科 Cynoglossidae	クロウシシタ <i>Paraplagusia japonica</i>	1989・11・18	釧路港(赤灯台)沖	シシヤモ柵網	豊洋丸	KCM0343
22		クロウシシタ <i>Paraplagusia japonica</i>	"	"	"	万古丸	KCM0344
23	カワハギ科 Monacanthidae	ハクセイハギ <i>Cantherhines dumerilii</i>	1989・9・12	41° 00' N, 145° 59' E	イカ刺網	北辰丸	KCM0339
24	ハリセンボン科 Diodontidae	イシガキフグ <i>Chilomyxerus affinis</i>	1985・9・4	41° 30' N, 144° 29' E	サケ流網	"	KCM0305

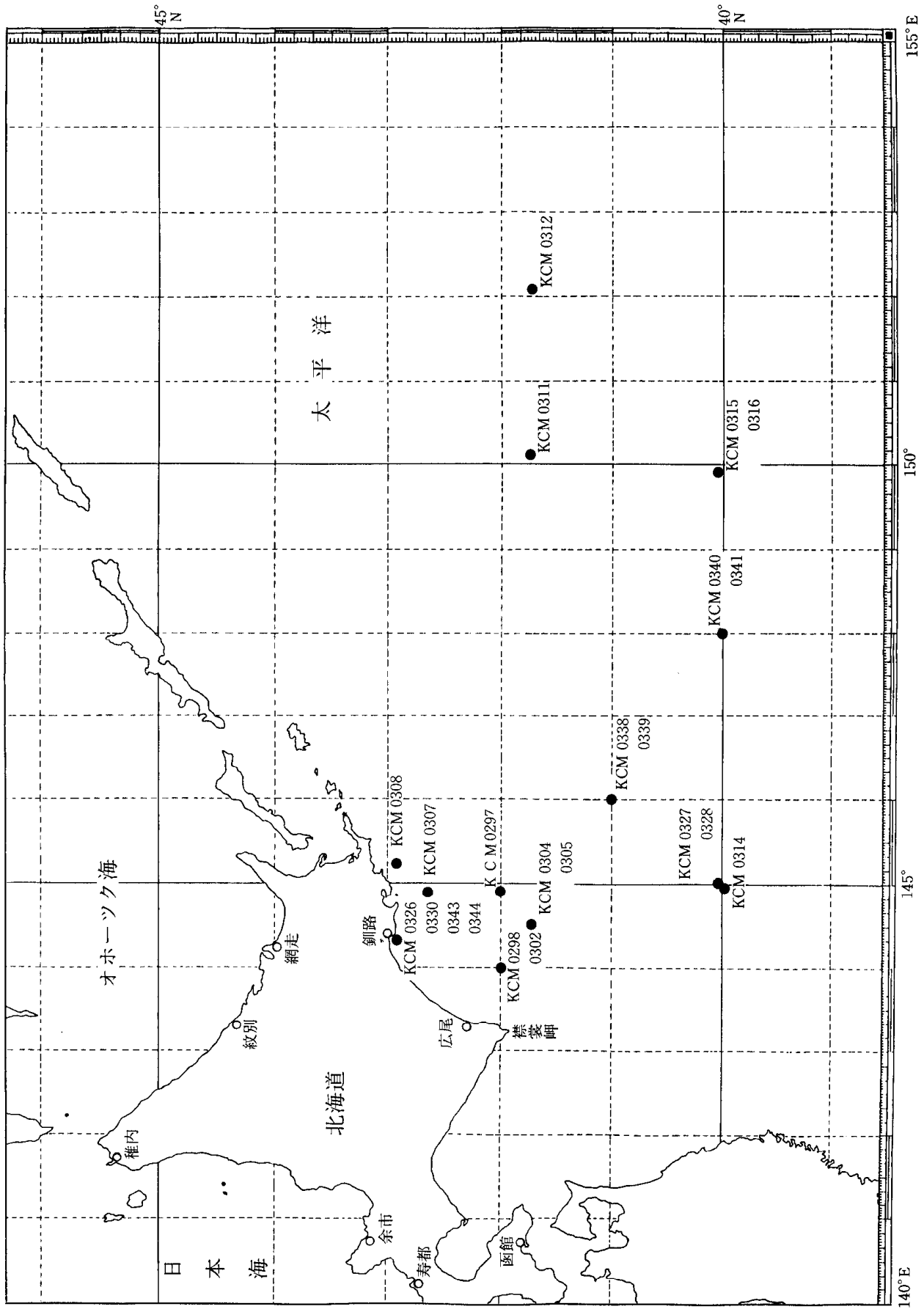


図1. 1985～1989年の期間に道東太平洋海域で採れた暖海性魚類の採集地点。地点番号は魚類標本番号を示す。

採集年月日：1985年9月11日

採集場所：42°00'N、144°55'E

本標本は吉田ほか（1985）が記録したものと同一標本である。本個体は北辰丸のサケ流網によって漁獲され（表1）、その時の表面水温は19.1℃であった。本種は、1985年に道東太平洋海域で初めて採集され、その後1989年現在に至るまでは得られていない。本種は外洋性で、一般に南日本、全世界の温帯、熱帯海域に分布する（益田ほか、1984）。

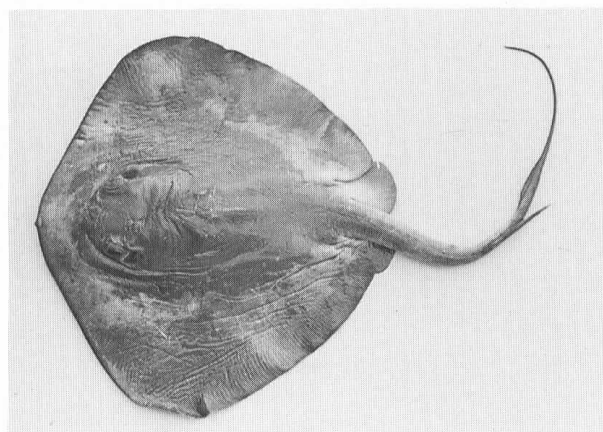
ウシエイ *Dasyatis ushieii* Jordan et Hubbs

標本番号：KCM0326（全長630mm）

採集年月日：1988年9月2日

採集場所：知人沖3.02マイル

本標本は佐々木ほか（1989）が記録したものと同一標本である。本個体は天昭丸の底曳網により、釧路沿岸の水深20mで漁獲された（表1、図1）。体盤長は370mmで、体盤幅は420mmであった。また、本個体はメスで、体重が2,233gであった。その他の北海道周辺では積丹以南の日本海沿岸で採集されている（上野、1971）。本種は一般に青森県以南から東シナ海の海域まで分布する（益田ほか、1984）。



アナゴ科 Congridae

マアナゴ *Conger myriaster* (Brevoort)

標本番号：KCM0307（全長758mm、体長752mm）

採集年月日：1985年12月15日

採集場所：42°39'N、144°55'E

本標本は吉田ほか（1985）が記録したものと同一標本である。本個体は第51立昇丸の底曳網により、厚岸沖の水深280mで漁獲された（表1、図1）。その他の北海道周辺での記録としては、噴火湾で夏と初秋に延縄で漁獲され（疋田、1950）、また、日本海沿岸でも採集されている（上野、1971）。益田ほか（1984）によると、葉形幼生は春季に太平洋岸各地の地曳網で、イワシ類のシラ

スとともに混獲される。また、本種は一般に北海道以南から朝鮮半島、東シナ海にかけての沿岸域に分布する。



トビウオ科 Exocoetidae

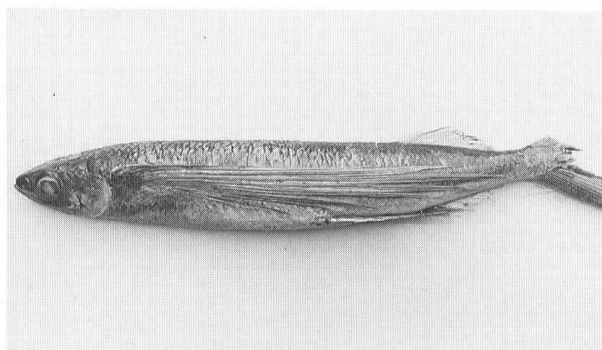
ハマトビウオ *Cypselurus pinnatibarbus japonicus* (Franz)

標本番号：KCM0312（体長364mm）

採集年月日：1986年9月7日

採集場所：41°43'N、152°05'E

本標本は北辰丸により北太平洋海域で漁獲された（表1、図1）。北海道周辺では襟裳以西の太平洋沿岸で記録されている（上野、1971）。本種は一般に南日本に分布し、カリフォルニア、チリー、ニュージーランド、日本各地およびインド洋にそれぞれ分布する5つの亜種に分けられている（益田ほか、1984）。



マトウダイ科 Zeidae

カガミダイ *Zenopsis nebulosa* (Temminck et Schlegel)

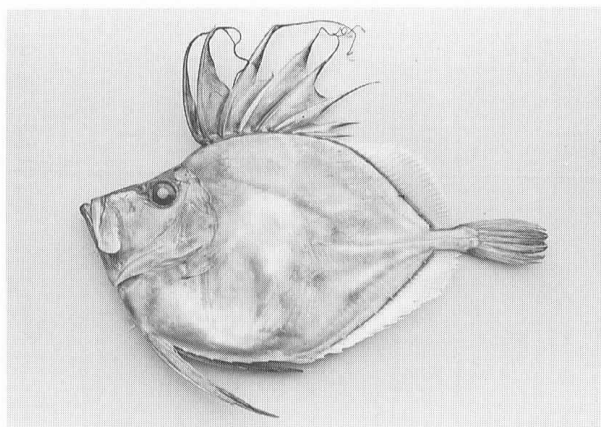
標本番号：KCM0349（全長255mm、体長210mm）

採集年月日：1989年9月27日

採集場所：道東太平洋沖

本標本は道東太平洋海域で採集されたが、正確な地点は不明である（表1）。本種の道東太平洋海域における記録としては、1961年9月30日に襟裳岬の北20マイルの湧洞沖水深30m（阿部、1964；Ueno and Abe、1966a）において、1982年10月27日に釧路市大楽毛沖のサケ定置網（阿部ほか、1983；中田、1983）において漁獲されている。また、その他の北海道周辺では、夏と秋に噴火湾でまれに漁獲され（疋田、1950）、尻岸内沖（小林・池田、

1962) や日本海沿岸 (上野, 1971) でも採集されている。本種は一般に福島県以南の中・西部太平洋海域に分布する (益田ほか, 1984)。



ボラ科 Mugilidae

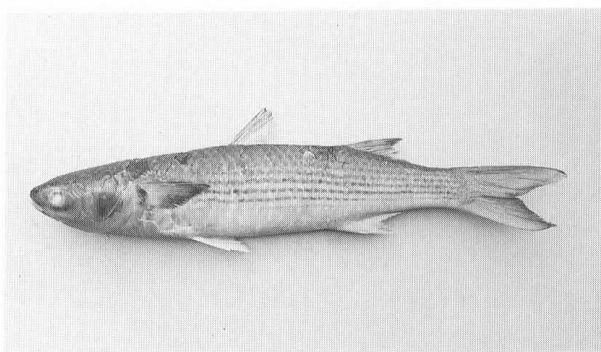
ボラ *Mugil cephalus cephalus* Linnaeus

標本番号: KCM0308 (全長452mm、体長360mm)

採集年月日: 1985年12月22日

採集場所: 42°54' N、145°15' E

本標本は吉田 (1985) が記録した個体と同一標本である。本個体は第11宝星丸の底曳網により、浜中沖の水深115—118mで採集された (表1、図1)。その他の北海道周辺ではオホーツク海側のサロマ湖や日本海沿岸などで記録されている (正田・柴田, 1964; 上野, 1971)。本種は一般に北海道以南の海域に生息し、全世界の温帯・熱帯海域に広く分布する (益田ほか, 1984)。



アジ科 Carangidae

ツムブリ *Elagatis bipinnulata* (Quoy et Gaimard)

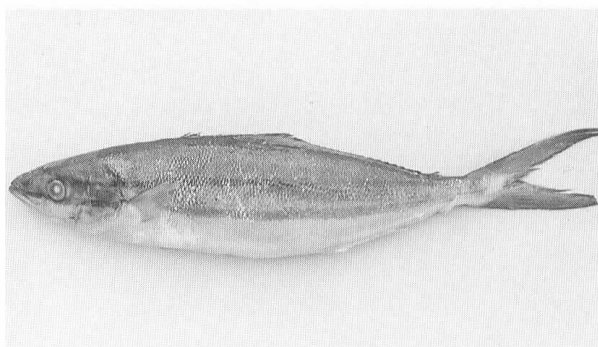
標本番号: KCM0341 (体長235mm)

採集年月日: 1989年9月10日

採集場所: 40°00' N、148°00' E

本標本は北太平洋海域で、北辰丸のイカ刺網により漁獲された (表1)。本個体の体重は180gであった。本標本は図1に示すように、道東太平洋海域よりさらに外洋

域で得られており、北海道周辺での採集記録はない (阿部, 1964; 上野, 1971; 阿部ほか, 1983)。本種は一般に南日本の海域や全世界の温帯・熱帯海域に分布する (益田ほか, 1984)。



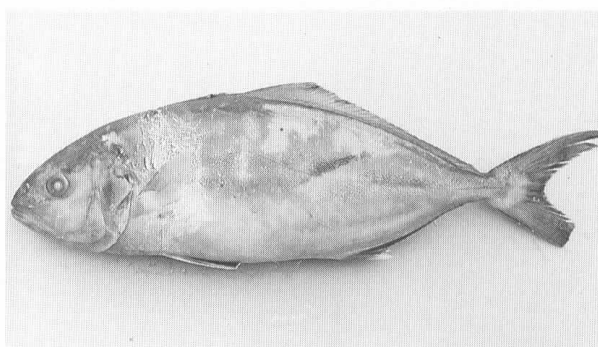
カンパチ *Seriola dumerili* (Risso)

標本番号: KCM0338 (全長319mm、体長285mm)

採集年月日: 1989年9月12日

採集場所: 41°00' N、145°59' E

本標本は北太平洋で北辰丸のイカ刺網により漁獲され



た (表1)。本個体の体重は470gであった。本標本は図1に示すように、道東太平洋海域よりさらに外洋域で採集されている。上野 (1971) の報告では、北海道近海で得られた魚類のリストに上げられているが、確実な記録ではない。したがって、本種は北海道近海にはいまだ出現していない。また、本種は一般に南日本の海域や全世界の温帯・熱帯海域に分布する (益田ほか, 1984)。

オキアジ *Uraspis helvola* (Forster)

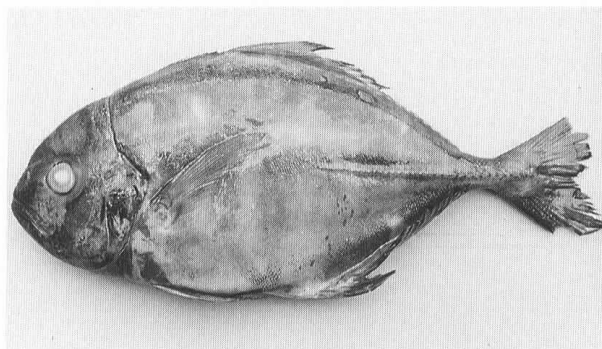
標本番号: KCM0340 (体長220mm)

採集年月日: 1989年9月10日

採集場所: 40°00' N、148°00' E

本標本は北太平洋で、北辰丸のイカ刺網によりツムブリとともに漁獲された (表1)。本個体の体重は330gであった。本標本は図1に示すように、北海道近海ではなく、さらに外洋域で採集されている。また、北海道周辺での記録はなく、北海道近海にはまだ出現していない種類である (阿部, 1964; 上野, 1971; 阿部ほか, 1983)。益田ほか (1984) によると、本種は一般に南日本の海域

やインド洋・太平洋の暖海域に分布する。



シマガツオ科 Bramidae

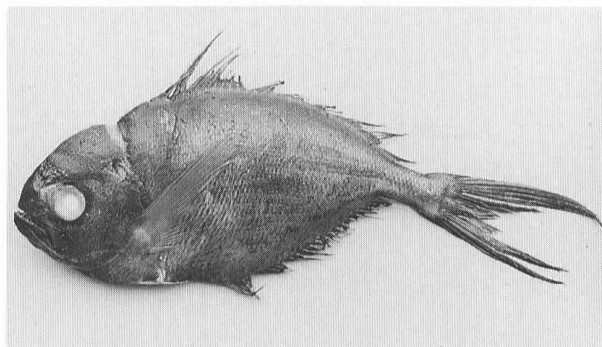
シマガツオ *Brama japonica* Hilgendorf

標本番号：KCM0316 (全長206mm、体長144mm)

採集年月日：1986年9月3日

採集場所：40°02'N、149°54'E

本標本は北太平洋で、北辰丸によって漁獲された(表1)。図1に示すように、北海道近海ではなく、さらに外洋域で採集されている。しかし、上野(1971)および



正田(1981)によると、北海道周辺では襟裳以西および以東の太平洋沿岸やオホーツク海沿岸などで知られている。本種は一般に日本近海や北太平洋の温帯海域に分布する(益田ほか、1984)。

マツダイ科 Lobotidae

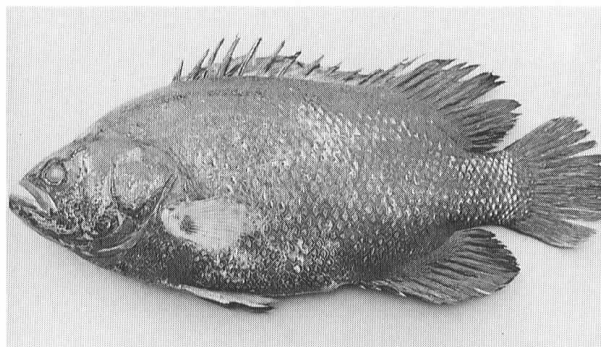
マツダイ *Lobotes surinamensis* (Bloch)

標本番号：KCM0302 (全長482mm、体長396mm)

採集年月日：1985年9月11日

採集場所：42°00'N、144°00'E

本標本は吉田ほか(1985)が記録した個体と同一標本である。本個体は北辰丸のサケ流網により、広尾沖で漁獲された(表1、図1)。その時の表面水温は19.1℃であった。その他の北海道周辺では、襟裳岬以西の太平洋沿岸で記録されている(上野、1971)。本種は一般に南日本の海域や太平洋、インド洋、大西洋の温帯・熱帯海域に分布する(益田ほか、1984)。



イスズミ科 Kyphosidae

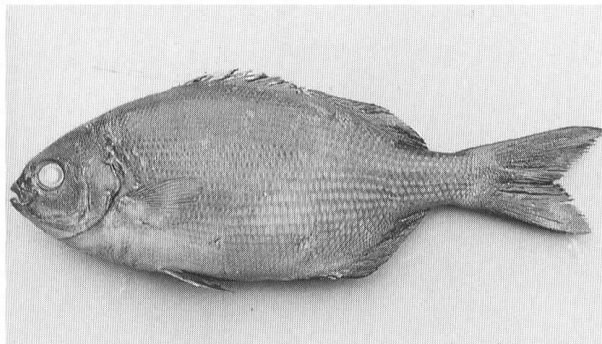
イスズミ *Kyphosus lembus* (Cuvier)

標本番号：KCM0311 (全長217mm、体長170mm)

採集年月日：1986年9月7日

採集場所：41°43'N、152°05'E

本標本は北辰丸によって漁獲された(表1)。また、本個体は北海道海域ではなく、さらに外洋域の北太平洋海域で採集された(図1)。本種は北海道周辺で採集された記録はなく、いまだ北海道近海に出現していない種類である(阿部、1964; 上野、1971; 阿部ほか、1983)。また、益田ほか(1984)によると、本種は一般に東京湾



以南の海域やインド洋、太平洋海域に広く分布する。

テンジクイサキ *Kyphosus cinerascens* (Forsskal)

標本番号：KCM0314 (全長278mm、体長222mm)

採集年月日：1986年9月11日

採集場所：39°59'N、144°59'E

標本番号：KCM0327 (全長209mm、体長176mm)

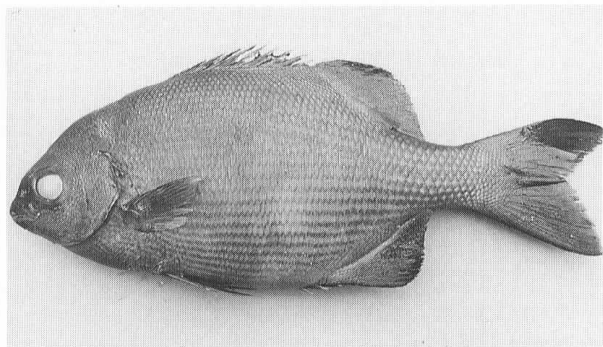
KCM0328 (全長176mm、体長137mm)

採集年月日：1988年9月5日

採集場所：40°00'N、145°00'E

標本番号KCM0327とKCM0328は佐々木ほか(1989)が記録した個体と同一標本で、流網によるアカイカ調査時に得られたものである。その時の表面水温は22℃であった。標本番号KCM0314(写真)を加えた3標本は北太平洋で、北辰丸によって漁獲された(表1、図1)。上野(1971)によると、北海道周辺では積丹半島以南の

日本海沿岸で採集されている。本種は一般に相模湾以南の海域やインド洋、西太平洋海域、紅海などに分布する(益田ほか、1984)。



コバンザメ科 Echeneididae

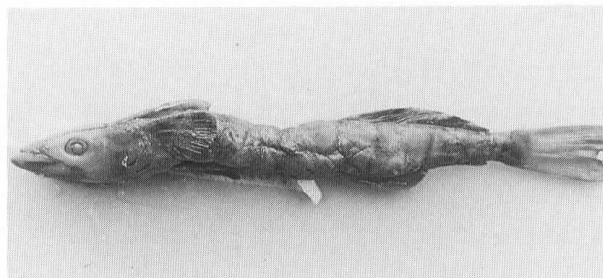
ナガコバン *Remora remora* (Linnaeus)

標本番号: KCM0304 (全長138mm、体長112mm)

採集年月日: 1985年9月4日

採集場所: 41°30'N、144°29'E

本標本は吉田ほか(1985)が記録した個体と同一標本である。本個体は道東太平洋海域で、北辰丸のサケ流網により漁獲された(表1、図1)。その時の表面水温は20.8℃であった。この海域での採集記録は上野(1971)の報告にもみられる。本種は一般に太平洋とインド洋の温帯・熱帯海域に分布する(益田ほか、1984)。



サバ科 Scombridae

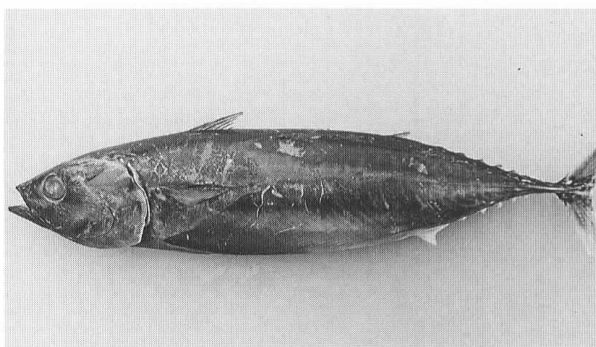
マルソウダ *Auxis rochei* (Risso)

標本番号: KCM0298 (全長330mm、体長294mm)

採集年月日: 1985年9月11日

採集場所: 42°00'N、144°00'E

本標本は吉田ほか(1985)が記録した個体と同一標本である。本個体は北辰丸のサケ流網により広尾沖で漁獲された(表1、図1)。その時の表面水温は19.1℃であった。道東太平洋海域以外の北海道周辺では、噴火湾で秋に採集され(正田、1950)、また、日本海沿岸でも記録されている(上野、1971)。本種は一般に南日本の海域や全世界の温帯・熱帯海域に分布し、後述するヒラソウダより沖合性である(益田ほか、1984)。



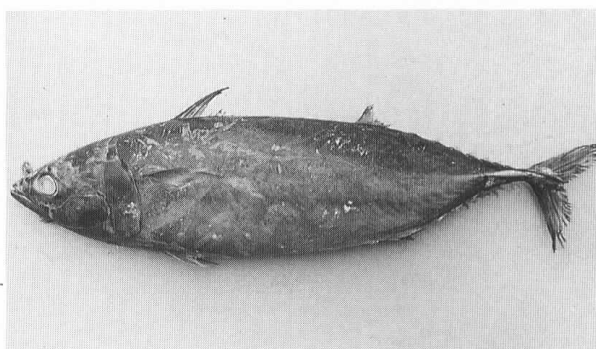
ヒラソウダ *Auxis thazard* (Lacepède)

標本番号: KCM0315 (全長305mm、体長295mm)

採集年月日: 1986年9月3日

採集場所: 40°02'N、149°54'E

本標本は北辰丸によって漁獲された(表1)。また、本個体は北海道近海ではなく、さらに外洋域の北太平洋海域で得られた(図1)。上野(1971)によると、北海道近海では日本海沿岸および襟裳岬以西の太平洋沿岸において記録されているが、道東太平洋海域での採集記録はない。益田ほか(1984)によると、本種は一般に南日本の海域や全世界の温帯・熱帯海域に分布する。



セミホウボウ科 Dactylopteridae

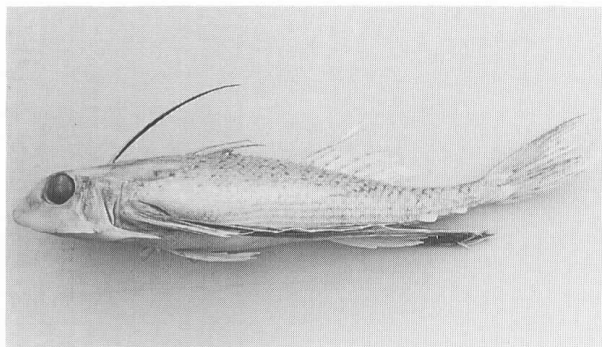
ホシセミホウボウ *Daicocus peterseni* (Nyström)

標本番号: KCM0330 (全長337mm、体長322mm)

採集年月日: 1988年9月29日

採集場所: 知人沖釧路8号定置

本標本は佐々木ほか(1989)が記録したものと同一標本である。本個体は定置網により、釧路沿岸の水深約50mで漁獲された(表1、図1)。本種は道東太平洋沿岸では初記録である。その他の北海道近海では、1982年6月15日に襟裳町新浜沖の水深10-20mで採集されている(阿部ほか、1983)。また、日本海沿岸では1954年11月に寿都沖(Ueno and Abe、1968)で、1980年8月19日に留萌沖の水深20m(阿部ほか、1983)で得られている。益田ほか(1984)によると、本種は一般に南日本の海域や南アフリカに分布する。



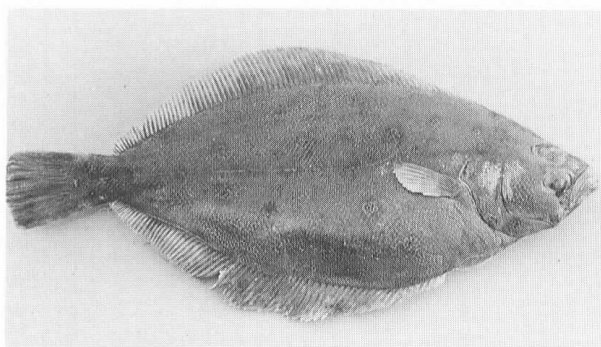
カレイ科 Pleuronectidae

ムシガレイ *Eopsetta grigorjewi* (Herzenstein)

標本番号: KCM0294 (全長382mm、体長330mm)

採集場所: 道東太平洋沖

本標本は道東太平洋海域で採集されたが、正確な地点は不明である(表1)。阿部(1964)によると、1962年10月27日に釧路沖の水深65—155mで、全長288mmの本種が漁獲されている。また、正田(1951)は噴火湾でまれに採集されると報告している。さらに、日本海側では忍路湾沖でも記録されている(Kobayashi, 1962)。本種は一般に噴火湾以南の太平洋岸と日本海や黄海、渤海、東シナ海および台湾に分布する(益田ほか、1984)。



ウシノシタ科 Cynoglossidae

クロウシノシタ *Paraplagusia japonica* (Temminck et Schlegel)

標本番号: KCM0343 (全長306mm、体長288mm)

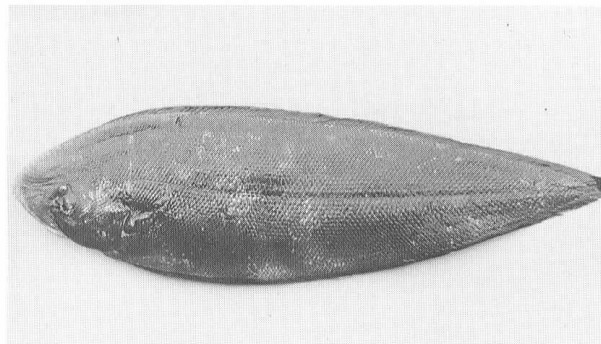
KCM0344 (全長301mm、体長285mm)

採集年月日: 1989年11月18日

採集場所: 釧路港(赤灯台)沖

標本番号KCM0343(写真)は豊洋丸によって、KCM0344は万吉丸によって採集された(表1)。また、いずれもシシャモ桁網により、釧路沿岸の水深12—15mで漁獲された(図1)。道東太平洋沿岸の記録としては、1962年10月15日に庶路と大楽毛の間の水深10—15mで、全長336mmの個体がやはりシシャモ桁網により漁獲されている(阿部、1964)。その他の北海道近海では、正田

(1951)によると噴火湾でまれに採集され、また、小林・池田(1962)によると尻岸内沿岸でも得られている。さらに、日本海側では余市沖でも記録されている(Ueno and Abe, 1966b)。益田ほか(1989)によると、本種は北海道小樽以南、台湾、南シナ海に分布する。



カワハギ科 Monacanthidae

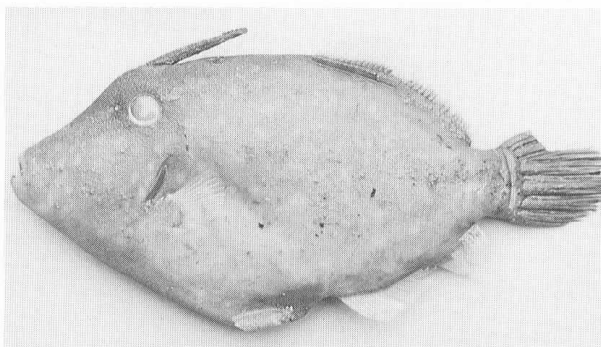
ハクセイハギ *Cantherhines dumerilii* (Hollard)

標本番号: KCM0339 (全長185mm、体長165mm)

採集年月日: 1989年9月12日

採集場所: 41°00'N、145°59'E

本標本は北太平洋海域で、北辰丸のイカ刺網により前述のカンパチとともに漁獲された(表1、図1)。本個体の体重は140gであった。北海道近海の記録としては積丹半島以北の日本海沿岸で知られている(上野、1971)。これ以外の北海道周辺での採集記録はない。本種は一般に駿河湾以南の海域やインド洋、西太平洋海域に分布する(益田ほか、1984)。



ハリセンボン科 Diodontidae

イシガキフグ *Chilomycterus affinis* Günther

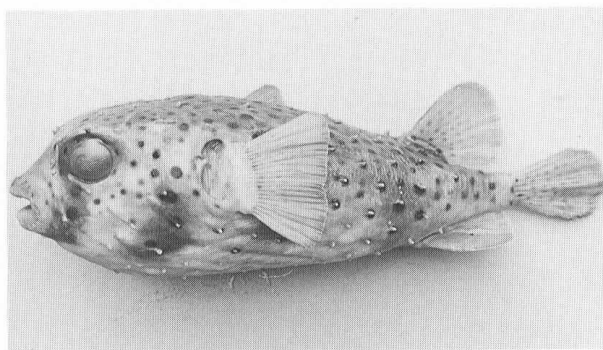
標本番号: KCM0305 (全長259mm、体長215mm)

採集年月日: 1985年9月4日

採集場所: 41°30'N、144°29'E

本標本は吉田ほか(1985)が記録した個体と同一標本である。本個体は道東太平洋海域で、北辰丸のサケ流網により漁獲された(表1、図1)。その時の表面水温は

20.8℃であった。道東太平洋以外の北海道周辺では、上野 (1971) の報告によると日本海沿岸で記録されているにすぎない。したがって、本標本は太平洋側では初めての採集記録である。益田ほか (1984) によると、本種は一般に本州中部以南の海域や太平洋の温帯・熱帯海域に分布し、サンゴ礁や岩礁に生息している。



おわりに

1985—1989年の9月から12月にかけて採集された16科21種の暖海性魚類を記載した。標本KCM0343と0344のクロウシノシタが11月に、0307のマアナゴと0308のボラが12月に得られた以外は、すべて9月に漁獲されたことが特徴として上げられる。小笠原 (1985) によると、北海道近海では一般に暖流は夏から秋にかけて強まる。したがって、さらに暖流の勢力が強い年の夏から秋の期間では、9月が最も暖流が卓越するものと推察される。道東太平洋海域や北太平洋海域で採集された暖流性の魚類がどのような経路によって北上したのか若干の考察を試みたい。北緯40度前後から42度にかけて、東経145度前後から以東の海域に出現した標本KCM0314、0327および0328のテンジクイサキ、0338のカンパチ、0339のハクセイハギ、0340のオキアジ、0341のツムブリ、0315のヒラソウダ、0316のシマガツオ、0311のイスズミおよび0312のハマトビウオなどは、地理的に明らかに黒潮から派生した暖水塊や黒潮北上分派 (小笠原、1985) の影響下にある海域で採集されている。したがって、これらの魚類は黒潮の暖流に乗って北上したものと推察される。

また、道東太平洋沿岸に比較的近い海域に出現した標本KCM0297のカラスエイ、0298のマルソウダ、0302のマツダイ、0304のナガコバンおよび0305のイシガキフグなどは、いずれも黒潮系水の北上勢力が強かった1985年に得られており (吉田ほか、1985)、しかも沿岸からの距離を考えると、黒潮から派生した暖水塊によってもたらされたものと推察される。

一方、道東太平洋沿岸に出現した標本KCM0307のマアナゴ、0308のボラおよび0343と0344のクロウシノシタ

は、黒潮系水の北上がすでに弱まっている11月中旬から12月中・下旬に採集されていることから、宗谷暖流の影響を受けた道東沿岸流 (小笠原、1985) によってオホーツク海からまわってきたものであろうと推定される。しかし、釧路沿岸で採集された標本KCM0326のウシエイや0330のホシセミホウボウがどのような経路で出現したのか、その推定は難しい。

引用文献

- 阿部晃治 (1964). 釧路沖周辺に出現した暖流系の魚について. 北水試月報、21(6): 16—24.
- 阿部晃治 (1965). 釧路で穫れたハマフグ. 釧路博物館報、(157・158): p.91.
- 阿部晃治 (1967). 話題の魚メダイ. 釧路水試だより、(10): p.12.
- 阿部晃治・山下 豊・中道克夫・田中富重・中田 淳・佐野満広・丸山秀佳 (1983). 北海道海域に出現した魚類とイカ類の初出現種と稀種 (1982年3月—1983年1月). 北水試月報、40: 304—331.
- 正田豊彦 (1950). 噴火湾の魚相について (I). 水産試験、5(2): 127—139.
- 正田豊彦 (1951). 噴火湾の魚相について (II). 水産試験、6(1、2): 191—209.
- 正田豊彦 (1981). 知床半島東側水域の魚類. 北海道さけ・ますふ化場研究報告、(35): 57—88.
- 正田豊彦・柴田尚志 (1964). 佐呂間湖産魚類. 水産孵化場研報、(19): 27—33.
- 入江隆彦 (1983). 釧路沿岸に出現した暖流系の魚2種. 北水研ニュース、(28): p.2.
- Kobayashi, K. (1962). Ichthyofauna of Oshoro Bay and adjacent waters. Bull. Fac. Fish. Hokkaido Univ., 12(4): 253—264.
- 小林喜雄・池田 正 (1962). 北海道尻岸内付近の魚類相. 北海道学芸大学生物教育尻岸内臨海実験所 (尻岸内臨海実験所付近の生物相第4冊)、1—21.
- 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝弥・吉野哲夫 (1984). 日本産魚類大図鑑、東海大学出版会、東京、448pp.
- 中田 淳 (1983). 一九八二年道東太平洋海域で採集された暖海性魚類. 釧路水試だより、(50): 24—28.
- 小笠原悖六 (1985). 北海道近海の海洋構造について. 育てる漁業、北海道栽培漁業公社、(150): 2—8.
- 尾身東美・阿部晃治 (1969). 釧路市立郷土博物館魚類標本解説. 釧路博物館報、(200): 19—29.
- 佐々木潤・吉田英雄・三原行雄・高昭 宏・佐野満広・

- 今井義弘・依田 孝・小林 喬(1989). 一九八八年に道東太平洋で採れためずらしい魚. 釧路水試だより、(61):12-20.
- Sato, S. (1937). The fauna of Akkeshi Bay. VI. Pisces. Jour. Fac. Sci. Hokkaido Imp. Univ., Ser. VI. Zool., 6(1):13-34.
- 上野達治(1971). 北海道近海産魚類目録. 北水試報、(13):61-102.
- Ueno, T. and K. Abe (1966a). On rare or newly found fishes from the water of Hokkaido (I). Jap. Jour. Ichthyol., 13(4~6):220-228.
- Ueno, T. and K. Abe (1966b). On rare or newly found fishes from the water of Hokkaido (II). Jap. Jour. Ichthyol., 13(4~6):229-236.
- Ueno, T. and K. Abe (1968). On rare or newly found fishes from the water of Hokkaido (III). Jap. Jour. Ichthyol., 15(1):36-37.
- 吉田英雄・中田 淳・上田吉幸・鳥澤 雅・今井義弘・佐野満広・鈴木孝行・山下 豊(1985). 一九八五年道東太平洋海域に出現した珍魚. 釧路水試だより、(55):16-21.